

# 令和4年度自己点検・自己評価のまとめ

仙台市医師会看護専門学校

自己評価委員会

令和5年5月 運営委員会資料

目的 評価項目125項目を通して、日々の教育活動を振り返り、3年課程構築の一助とする。

- 目標
1. 学校運営の評価の視点を再確認できる。
  2. 評価の視点で、日々の教育活動を振り返ることができる。
  3. 3年課程学校運営の具体的な検討資料とする。

評価期間 令和4年4月～令和5年3月の1年間

実施者 教員16名 事務:3名 計19名

- 方法
1. 説明 令和5年2月14日(火)職員会にて
  2. 配布 令和5年2月14日(火)
  3. 回収 令和4年3月 1日(水)～ 3日(金)の間に、事務課長に提出
  4. 結果 令和5年4月職員会で 集計結果を公表する
  5. その他 事務の回答範囲  
Ⅲ教育課程の経営とⅣ教授・学習・評価課程は除く

表1 集計結果の平均

項目	准看護学科	看護学科	事務	平均
I 教育理念・教育目的		2.3	2.6	2.4
II 教育目標		2.3	2.3	2.3
III 教育課程経営		2.3		2.3
IV 授業・学習・評価		2.3		2.3
V 経営・管理過程		2.2	2.1	2.1
VI 卒業・就業・進学		2.0	1.9	1.9
VII 地域社会/国際交流		1.7	1.8	1.8
VIII 研究		1.6	2.2	1.9

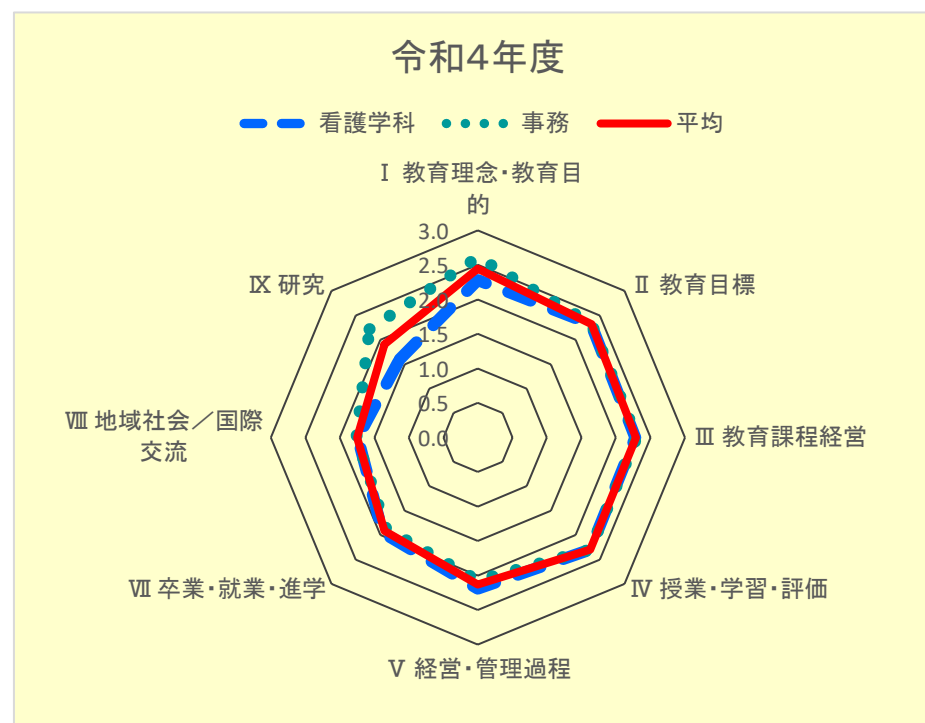
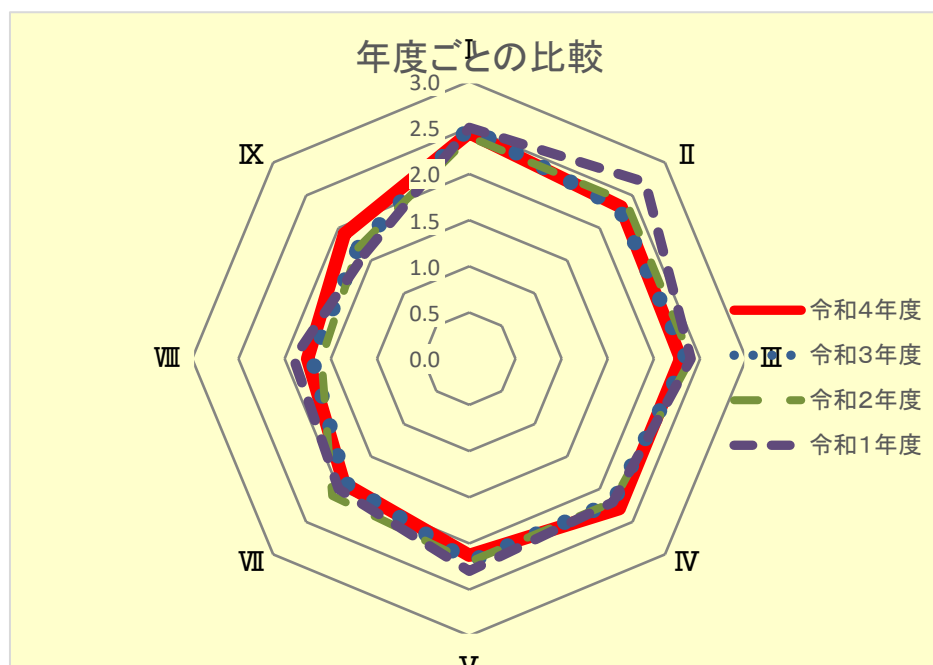


表2 年度ごとの比較

項目	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和1年度
I 教育理念・教育目的	2.4	2.5	2.4	2.5
II 教育目標	2.3	2.3	2.4	2.7
III 教育課程経営	2.3	2.4	2.4	2.4
IV 授業・学習・評価	2.3	2.2	2.2	2.2
V 経営・管理過程	2.1	2.2	2.2	2.3
VI 卒業・就業・進学	1.9	1.9	2.1	2.0
VII 地域社会/国際交流	1.8	1.7	1.6	1.9
VIII 研究	1.9	1.7	1.7	1.6



## 【結果と分析】

今年度の評価は、目的にあるように、日々の教育活動を振り返る機会として、また令和5年度より始まる3年課程の構築に活かすために行ってきた。准看護学科の閉科に伴い、教員全員が2年課程に所属し、国家試験に向けて国が求めている看護師養成を理解し、また教員として自己の能力拡大への意識の変化をねらいとしてきた。日々の忙しい業務の中において、評価をすることにより、自己を振り返り、3年課程の構築に参加することができたと考える。

2 目標1について 学校運営を俯瞰的に見るようになった反面、看護学科の詳細をまだ把握しきれていないところがあると認識できている。また評価の詳細を意識し、見直す機会となっている。

3 目標2について 自己の振り返りから、不足していたところ、できていないところが明らかになってきている。また組織として取り組まなければならない評価課題が明らかになってきている。

4 目標3について 評価の低い項目への取り組みについて、具体的なイメージを持つことができている。特に評価項目の低いⅦ卒業・就業・進学については国家試験の合格率だけではなく、就職先との連携強化を図ること、Ⅷ地域社会/国際交流については、八乙女地区との交流の機会を持つことや、Ⅸ研究については組織として取り組む内容の検討等、新たな課題を提示していただいた。